

洪水調節の無かった出水期

今年も6月11日より始まった洪水期が10月10日で終了しました。今年の洪水期の特徴は、梅雨明けがなかった事と、台風による出水がなかったことです。

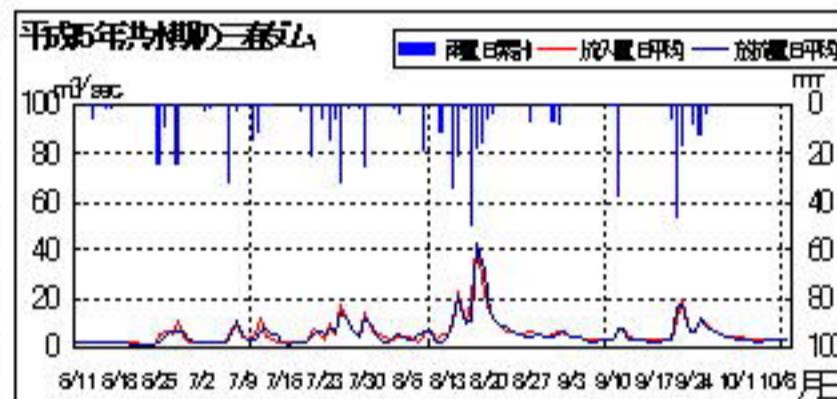
今年の梅雨は一度7月末に梅雨明け宣言が気象庁よりありました。しかし、8月になり梅雨明けを撤回し、結局、梅雨明けしないままに夏が終わりました。今年の6月から9月までの雨量は590mmと平年よりはやや少ない雨でした。出水は小出水が大半で、土日の出水が多く休日対応の多い年となりました。また、8月、9月と台風の接近がありましたが、まとまった雨とはならずコンジットゲートの操作が必要な出水とはなりませんでした。

結局、洪水調節が必要となる出水は今年はありませんでした。しかし、大きな出水はなかったものの小出水への対応も、三春ダムでは1号・2号発電機、2号バルブ、1号バルブと4つの放流設

備を使い分ける必要があり、放流量を目標の放流量までバルブ操作することは複雑で時間のかかることを経験しました。

利水面では、洪水期を通して制限水位を台風対応時以外に下回ることなく、安定した利水補給ができました。

今年はダム管理者にとって、洪水による被害、濁水による被害がなく、穏やかでよい年だったと言えます。洪水の季節は終わりましたが、非洪水期も気を抜かないでダム管理頑張ります。



冷夏の影響で良い水質～アオコの少なかった今年の夏～

今年の夏は東北地方において10年ぶりの冷夏となりました。過去5回の夏(6～9月)と比較してどのような違いが貯水池内(ダムサイト表層)にあったのかを報告します。

水温については過去5ヶ年平均(以下過去平均)22.58℃に対して、今夏は20.45℃と約2℃の低下となりました。この水温低下が、貯水池水質を例年に比べ大きく変動させる要因となりました。

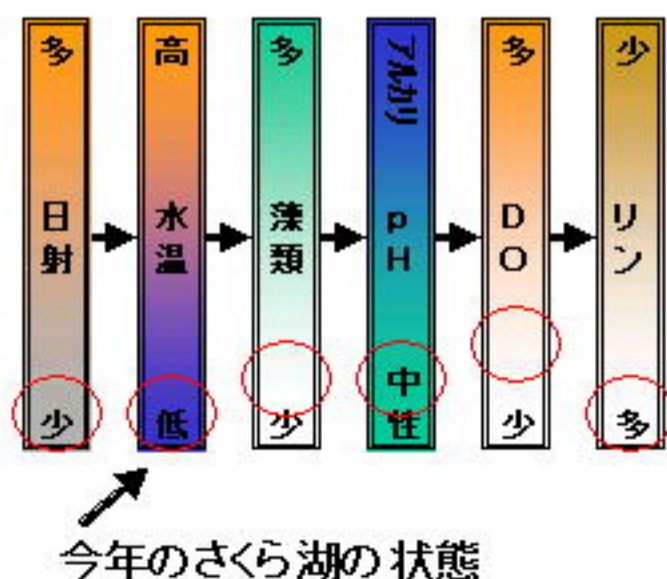
pHについては過去平均7.95、今夏7.10と大きく低下、CODも過去平均5.22、今夏3.90これも大きく低下、SS・濁度は小出水により濁質流入はありましたが、表層の値は過去平均6.50、14.2、今夏平均3.75、8.6と、これも大きく低下していました。以上の結果を裏付けるよう、クロロフィルa(藻類の増殖度合いを示す数値)も過去平均28.19、今夏10.50ug/lと大きく低下しました。

また、藻類の餌となる溶解性オルトリン酸態リンは、過去平均0.0129、今夏0.0203mg/lと非常に高い値となっていましたが、これについては藻類が増殖しなかった為餌が余った状況となっていた

と考えられます。

まとめとして、今夏の水質は低温の影響から藻類の異常増殖が無く、例年に比べ非常に良好な水質となっていましたが、しかし直接栄養塩類は貯水池内に豊富に含まれていた事から、天候の回復次第では爆発的な藻類の増殖が起きるかもしれない「綱渡り的な」状態であったといえるでしょう。

今年のさくら湖・水状況



秋晴れの中笑顔でスタート

「うつくしま・みずウォーク 2003 三春大会」が10月11日（土）に開かれました。

約1,400人が、秋晴れのもとさわやかな空気をいっぱい吸い込みながら、さくら湖畔を思い思いのペースで、20kmコースと車いす用のコースも設置された一般用の10kmコースの2コースを歩きました。

ある家族は、「三春大会は素晴らしいコースなので、みんなと楽しい時間を過ごせて気分爽快です。」と話されていました。またある会社は、ボランティアも兼ねてコースのゴミ拾いを行っていただきました。

ゴール後は、抽選会などのイベントが開催され、参加者はまた来年の開催を楽しみにしていました。



空からの大滝根川流域

去る、10月17日（金）に大滝根流域を上空より観察する機会がありました。

「大滝根川上流には約31,000人の人口があり、畜産・自然林が豊富で・・・」これは見学に来た方達に対し私達が常日頃述べている言葉ですが、今回ダム上流地域の市街地・耕作地・放牧地・山林等を空から見ることにより、今後のダム管理や広報業務に役立てようという事を目的に観察を行いました。



先の言葉の裏付けは先達の調査結果を基にしていた訳ですが、今回実際に見る事で上流の集落・自然林・耕作地の多さ、放牧地の広さを改めて確認する事となりました。以下、実況風に説明します。

午後1番の班編制に組み込まれた私達は、13時に管理所から滝地区の臨時ヘリポートに向かいました。ヘリポートでは、パイロット・整備士の方がすでに準備完了しており、写真撮影の際の注意事項や、ヘッドホンマイクの使用方法を指導してもらい、ついに離陸です。

「撮影したいところ有りますか」パイロットの問いかけに「各前ダムを下流側から撮影したいです」右旋回、左旋回を繰り返し各前ダムの写真を撮影、「後はよろしいですか?」「本貯水池の全景が撮りたいです」と答えるとヘリは高度を上げていきます。パンフレット等にも記載されている風景が見えた時、高度は1,300mとなっていました。三春ダム全景を初めて生で見ましたが、確かにヤツデの形状をしており、水質対策も必要だよなど再認識させるものでした。



貯水池周辺の撮影を終え、ヘリは上流に向かいます。船引町・常葉町・大越町・滝根町上空から見ると市街地は大きく、31,000人の流域人口を肯かせせるものです。また、大滝根山を含め山林の広さ、放牧地の多さいずれも我々が説明していた通りです。これだけ多くの負荷が三春ダムに入ってくるのか、気合いを再注入しつつ、あっという間の50分間が終了し、ヘリポートに戻って来ました。途中、今回のフライトを知っていた知人等がヘリに向かって大きく手を振ってくれているのに気づいたり、気づかなかったりしつつ、非常に有意義な1時間でした。今後、今回の経験を生かすようなダム管理業務を心掛けることを思いつつ今回の報告を終了します。

シリーズ さくら湖周辺をあるこう⑤

とうとう、5回目です。今回は久々に三春ダム管理所から歩いていきました。

三春ダム管理所→さくらの公園→狐田橋→ぐるっとまわって→狐田地区親水公園→狐田稲荷神社
というコースです。

① 堤体左岸から出発です。

② さくらの公園も色づいてきました。

③ 真っ赤に燃えています。

④ 狐田橋からの眺めです。遠くに見えるのは雁山東部取水塔です。

⑤ 雁山東部取水塔です。

⑥ お約束の喜田大橋です。

⑦ 今度は真っ黄色です。

⑧ 狐田親水公園の駐車場はなぜ？車が入れないようになっていました。

⑨ 新水公園だけあって、新水可能です。

⑩ 狐田稲荷神社の入り口です。

⑪ 鳥居をくぐり階段を登っていきます。

⑫ 神社でお参り。

⑬ それでは、さようなら

今回は狐田親水公園にダムから歩いて行ってみようという感じでしたが、公園は基本的にゲートボール場でしたが、なぜか駐車場に入れなくなっていました。

まあ、何をあいても今回は紅葉です。ダム湖周辺も段々色付いてきて、なかなか雰囲気出てきました。お暇があれば、是非いらしてください。

秋も深まり、散策するには段々寒くなってきたので、次回の歩こうがあるのかは微妙ですが（春までお休み？）それではまた。

ミーちゃん&ハル君の
ちよつとからくち
三春ダム



最近よく役所の人たちが、市民団体と連携しなければならぬんだなんていうけど、そもそも市民団体って何なのかしら？

市民団体については色々な定義があるけど、私達河川管理者が考える市民団体とは「社会的な使命を軸としてボランティアな活動を行っている団体」を言っているんだよ。



佐々木係長

具体的にはどういう人たちの集まりを考えているの？

河川審議会の答申によれば、川に関わりのある団体の内団体の構成や運営等について、既に法律により定められているものについては対象となっていないけど、財団法人、社団法人、NPO法人等については活動内容に応じて含むとされているんだ。

それじゃ、釣りクラブみたいな趣味の
同好会や特定の業界の集まりはどーなの？



個人的な趣味のみのものは入らないんだ。また、水防団、土地改良区、漁業協同組合等の川に関わりのある諸団体については、川に関する重要な社会的役割を果たしているものの、市民団体とは言わないよ。

どうしてそんなに市民団体と連携する必要がでてきたの？

ハル君は平成9年に河川法が改正されたのを知っているかな？その時、法律の目的として治水・利水に加えて「河川環境の整備と保全」が内容に盛り込まれたんだ。

その事と市民団体との連携が

どう関係あるの？



その法改正の時に、河川整備基本方針と河川整備計画という新しい計画制度が導入されたんだけど、河川整備計画策定に当たっては、地方公共団体の長、地域住民等の意見を反映する手続きが法律で定められたんだ。これにより、地域と連携し地域の意見を生かして河川整備を行う事になったんだ。

だから市民団体とも連携しなければならなくなったのね！



三春着物サークル
によるストールや小物
などの作品展
「吾々の国の仲間達」
を開催中です。

資料館に俳句ポストを設置しました。
さくら湖を訪れた際には、奮ってご応募
下さい。俳句ポスト以外（郵送、メール
など）でのご応募もお待ちしております。

自然観察ステーションからのお知らせ

11月15日(土)、21日(金) 星を見る会

秋から冬にかけての星雲星団の観察を行います。

11月16日(日) 鉱物観察会

朝日鉱山跡(会津若松市)に透明やオレンジ色の石膏
などの観察と採集に行きます。

11月23日(日) 秋の野鳥観察会

事前に予約が必要なコースもあります。
お問い合わせは、さくら湖自然観察ステーション
(Tel 0247-61-1546) まで。

10月のダム見学

10月 6日(月) 国際協力事業団 13名

10月16日(木) 荒川北緑水防事務組合 19名

10月16日(木) 埼玉県三郷市上水道運営委員 18名

三春ダムのホームペ
ージでも見学の様子を見
ることができるよ。



編集後記

日に日に秋が深まってきました。皆さんは、紅葉狩り等に出かけられましたでしょうか。(私は、時期を逃してしまいました。)初冠雪や、阿武隈川の白鳥のたよりが聞こえてきて、もう初冬の季節になりつつあります。あっという間に季節が経ってしまうと感じているのは、私だけなのでしょうか。

今月は、さくら湖自然環境フォーラムが開催されました。管理ニュースでは、色々なイベントや話題を紹介していますので、お気軽な参加やたくさんのご意見を心よりお待ちしております。(渡辺)

編集・発行

国土交通省
東北地方整備局
三春ダム管理所

皆様のご意見や情報の
提供をお待ちしています。



〒963-7722 福島県田村郡三春町大字
西方字中ノ内403-4
TEL 0247-62-3145 FAX 0247-62-3170
<http://www.thr.mlit.go.jp/miharu>